

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

今、議員のお尋ねの場所は、多分、県道からずっと西海のほうへ上がって行って、それから林道へ入っていく海谷山峡パークへ行く一步手前のところなのかなというふうに推測いたしております。私も何回か足を運ばせていただきまして、あそこから見る海川に沿った開けた日本海も見えるすばらしいポイントだなというふうに思っております。まさにイメージとすれば、谷が開けているなどというイメージであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ありがとうございました。海岸から直線で11キロメートル、標高が700メートルだそうです。その場所から私たちの遠い祖先も海を眺めていたと思うと感無量のものがあります。

以前、海川上流から河口までのエリアのすばらしさを生かそうと亡くなった伊井澤議員と語り合ったことがあります。その伊井澤議員の志は、地域の方々に引き継がれていますが、私もその一人として、さらに頑張りたい。そのことを申し上げまして、質問を終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

11時40分まで暫時休憩といたします。

〈午前11時31分 休憩〉

〈午前11時40分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、山本 剛議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。〔3番 山本 剛君登壇〕

○3番（山本 剛君）

清政クラブの山本 剛です。

通告書に基づき1回目の質問をさせていただきます。

「自然環境保全事業」として行われた田海ヶ池の調査について。

本年9月に、「自然環境保全事業」として田海ヶ池の外来生物駆除、生物生息調査が行われました。この事業について、以下伺います。

(1) この事業を行うまでの経緯について伺います。

(2) 今回行われた、この事業の日程・内容について伺います。

(3) 内容は地引き網が破れる等、苦戦であったと思います。今回の成果及び評価を、どのように考えているか伺います。

(4) 今後この事業の継続や田海ヶ池を、どのように考えているのかを伺います。

2、「キャリアフェスティバルいといがわ2020」について。

市内の4校の中学3年生を対象に、「キャリアフェスティバルいといがわ2020」が11月12日に行われました。この事業について、以下伺います。

(1) 参加した中学生の評価は、どうであったか伺います。

(2) 出展した企業・事業者の評価は、どうであったか伺います。

(3) 教育委員会としての評価を伺います。

(4) 次年度以降の開催について、するとした場合、その内容について改善点等をどのように考えているのか伺います。

3、糸魚川市と県内他市町村の教育費との比較について。

「新潟県100の指標」が県から公表されています。その中に、市町村ごとの「教育費割合」があります。「教育費割合」とは、その市町村の歳出決算額（普通会計）に対する教育費の割合です。そこで、過去5年間の記録を拾ってみました。糸魚川市は平成27年度が11.3%で、その後は9.6%、9.0%、8.0%、7.4%でした。県内30市町村中、27年度が10位でしたが、令和元年度は27位となりました。

教育費には、学校の建設費なども含まれるため、単純に比較はできないものです。糸魚川市は令和元年度、ごみ処理施設整備などに多額の費用を使い、分母が大きくなったため教育費の割合が下がったものと考えられます。しかし、この5年間では27年度の10位が最高でした。

糸魚川市は「子ども一貫教育基本計画」で「ひとみかがやく日本一の子ども」を目標に掲げています。その中に「『日本一の子ども』とは、自信をもって世の中に力強く歩み出す子どもの姿を表したスローガンです。家庭、園、学校がそれぞれの役割を自覚し、環境を整え、責任をもって教育に取り組みます。」と書かれています。

私は日本一を目標に掲げるのであれば、少なくとも県平均以上の予算が必要と考えます。教育環境を整えるには、それなりの費用が必要だと考えます。

先日行われた陰山メソッド全国大会で、授業を見学させていただきました。授業では、問題を事前に大洋紙に書き、黒板に書く手間を省いて、時間を有効に使う姿勢が見られました。この大洋紙やペンも備品です。小中学校に出向いて話を聞くと、やはり備品が不足と聞きます。

来年度には小中学生全員にタブレットが配付されます。しかし、タブレットが配付されても、アップル社のタブレットに見合ったソフトに費用がかかるとも聞きます。

市の財政が厳しいこと、様々な事業に費用が必要なのも理解しています。しかし、私は市の未来を考えたとき、もっと教育にお金をかけるべきではないかと考えます。

家庭でも子供の教育のためには、お金の使用先を最優先に考えているのが実情だと思います。

現在、コロナ禍で人の意識は地方への移住に向かっています。その移住先に選ばれるためには、子供の教育環境が大きな条件だとも聞きます。

市長は、この状況をどのようにお考えか伺います。

1 回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

山本議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、田海ヶ池の自然を守るため地元の思いもお聴きする中で事業を計画いたしました。

2 点目につきましては、農業用のため池としても利用していることから、水利用が少なくなる秋を実施日として選定し、外来生物を多く確保することができる方法として、地引き網による捕獲をいたしました。

3 点目につきましては、外来生物など 8 種 4 2 8 匹の駆除を行うとともに貴重な生物 1 7 種 2 2 0 匹が確認され、一定の成果があったものと捉えております。

4 点目につきましては、田海ヶ池には貴重な生物が数多くいることが再確認され、この自然を守っていくとともに多くの方から知っていただく必要があると考えております。引き続き生態系の保全に努めてまいります。

2 番目、3 番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしくお願いたします。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

山本議員のご質問にお答えいたします。

2 番目の 1 点目につきましては、事後学習のアンケートにおいて前よりも糸魚川で働きたいという思いが強くなった。本気で働いている大人を見て、とても格好いいと思ったといった好意的な声が多数ありました。

2 点目につきましては、ふだん関わることの少ない中学生に会社のことはもとより、仕事への思いや生き方を直接伝える機会が持ててよかったとのご意見を頂いております。

3 点目につきましては、今回初めての開催でありましたが、産学官が一体となって取り組み、中学生、企業の双方から非常に高い評価をいただいたことから、とても収穫の多い事業であったと捉えております。

4 点目につきましては、現在、検証しているところであり、課題を整理した上で来年度に向けた検討を進めたいと考えております。

3 番目につきましては、未来ある子供たちのための教育環境の整備・充実は、重要と考えております。予算につきましては、維持管理費等の固定費に加え、学校からの要望などを踏まえた上で教育活動に必要な予算の確保に努めているところでありますが、今後も教育環境のさらなる充実を図

ってまいります。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

ありがとうございます。

それでは、大きな1の自然環境事業について、お伺いたします。

初めに今回の事業で多くのボランティアをはじめ市の職員など協力していただき、本当にありがとうございました。御礼申し上げます。

2回目は、全体を通してさせていただきます。

今回の事業に向けて、地元と3回の協議を行ったと聞いています。デンカ田海工場ができるまでは、田海の田んぼの用水として機能していました。そのときには、池の底には泥が少なかったと聞いています。年齢でいいますと70代後半より上の人たちの遊び場であり、池の特徴をよく理解していたと聞いています。

今回の事業でなかなか苦戦した。うまくいかなかった。その経験を生かされていなかったのではないかという声がありますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

地元の方との協議の中で多くの貴重なご助言を頂きました。大変ありがとうございました。その中で作業は実施可能というふうに判断をさせていただきましたが、実際の池の状態につきましては、ご助言いただいた内容から、この数年の間にさらに状況が変化しており、苦戦をする結果になったものというふうに思っております。

しかし、本事業の実施によりまして、現在の池の状況を把握することができましたので、今後の事業に生かしていけるものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

今回の事業で、地引き網を使って、例えば成功したとしても、地引き網の網がやっぱり小さければ大きなものしか捕れなくて、外来生物が、いわゆる根こそぎ捕れるというわけにいかなかったと思うんですけど、その点はどのようにお考えだったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

今回の事業につきましては、多様な生物の保護を目的にしたものでありまして、大がかりな水抜きですとか、泥の撤去などを行いますと貴重な生物に影響があるのでないかというふうな考えの中から、地引き網という今回のような方法を選択させていただきました。

そういったことから、当初から全量を捕獲するというよりは、7割の外来種を捕獲できればというふうに思っておりましたが、実際にはそれもままならず、うまくいかなかったという状況ではあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

5日の日に放送がありました。そのときの放送を見てると、なかなか魚が少なくてという話があったと思うんですけど、何かあまりいい印象でなくて、今伺ったところ428匹とか、いろんなそういうことがありますけど、その点について詳しく教えていただきたく思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

テレビの放送では、実際の内容としては9月17、18日の分のみの放送となっておりますが、この事業につきましては、8月の28日から10月14日頃まで継続して行っておりましたので、そういったものの中で実際の数値が増えているものというふうに思っております。

また、成果としましては、先ほど外来種の駆除ありましたが、貴重な生物としましては、環境省のレッドリストに載ってるようなものが確認されてるということでございますので、そういったものが確認できたという成果もあるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

継続するというふうにお答えいただいたと思うんですけど、次年度以降含めて、計画がもしあったら教えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

次年度以降につきましても田海ヶ池を中心とした自然環境の保全につきましては、事業を継続し

てまいりたいというふうに考えております。

やり方につきましては、現在検討中でございますが、例えば釣り人との連携をして、釣りで駆除するという方法もありますし、それ以外、これまで試した方法をまたやってみるということもあるかと思いますので、また研究してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

仮にテレビの放送なんかをやると、もう本当に泥、根こそぎ全部あれしてというような感じがあるんですけど、もしそれをやるとしたら、あれだけの広さだと、もう億、下手すると10億を超える費用が必要なんだと思うんですね。自然保護という部分では、やはり継続してやらざるを得ないと思うんですけど、改めてその点をどうお考えなのか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

今ほどお話ありましたが、やはり泥を全部取るというのは、金銭的なものもありますけども、それ以上にやはり自然環境保全という面では、好ましくないものじゃないかというふうに考えておるところでございます。ですので、次年度以降につきましては、どのような方法がいいのか、今年度やらせていただいた経過を基に検討させていただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

これで最後にしたいと思います。

自然生物の保護ということで、そちらの専門家の意見はどんな感じなのでしょう。今回の事業についての評価をお聞かせいただければというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

今回の成果につきましては、当初から地元の有識者の方にもご計画に参加していただくというところを取っておりますので、そういった中でこれまでの確認ですとかが進んだものというふうに思っております。

また、こういった経験を打合せをする中で生かしていきたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

それでは、大きな2番に入りたいというふうに思います。

キャリアフェスティバルいといがわ、昨日の12月10日の広報いといがわで、このキャリアフェスが大きく紹介されております。一般市民もこの事業を知ることができたものと思います。改めて2回目の質問をさせていただきます。

先ほどの質問の中でもありましたけど、参加した中学生のアンケートで、この糸魚川に残ってもいいような発言がありましたけど、その点詳しく教えていただければというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

まだ、教育長答弁にもあったとおり全てまとまっているというわけではありませんけれども、アンケートにつきましては、実施前と実施後の生徒の気持ちの変わりようを見るために4つの中学校共通のキャリアフェスティバル学習シート、いわゆる簡単なアンケートを作成しまして、全員から記入をしてもらっています。その中で糸魚川の事業所で働いてみたいと思いますかというような問いをつけてアンケートをさせていただいて、その問いについては、全く思わない、あまり思わない、少し思う、思うの4択で記入をさせていただいて、前と後で記入をさせていただいております。

実施後に糸魚川で、まだ全てまとまっているわけではなくて、私が見る限りの答弁になりますけれども、実施後に、糸魚川で働いてみたいと思わない、あまり思わないの数が大きく減って、少し思う、思うの数が、大きく増えている状況であります。それにつきましては、生徒の地域への愛着が深まったのではないかなというふうに捉えておりますが、いずれにしろ、今後、詳細にまとめて検証していきたいと思っております。

以上です。

○議長（中村 実君）

山本議員の発言の途中ではありますが、昼食時限のため暫時休憩といたします。13時まで、暫時休憩といたします。

〈午後0時00分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

じゃあ引き続き質問させていただきます。

今回、出展した企業あたりは、どんな反響か詳しく教えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

教育長答弁にもありましたとおり、今回出展していただいた企業、皆さんそれぞれ初の試みだったんだけど、非常に事業所にとってプラスになったというご意見もありましたし、やっぱり事業所によっては、やはりプレゼン能力といいますか、そういったものをやはりまだ磨かなければいけないといったご意見も頂戴しているところでもあります。いずれにしろやはりそういったところ、事業所のメリットも分かっていたんだではないかなというふうに捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

私もいろんな企業の方からお話聞きました。やっぱりその中で初めてのことでやはり未経験だったと。来年もしやるんだったら、こんなことやってみよう、あんなことやってみようとか、やっぱりそういう声が聞かれました。今回コロナでなかなか出られなかった企業もあると思うんですけど、来年に向けて、やはりぜひとも企業の方にそういういいようなプレゼンできるようにしていただければというふうに思います。

いろんな話を聞く中で、実は保護者のほうからも私も参加したかったという声があるんですけど、その点いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

そういったお声も私どもも頂いております。今年はコロナの影響で、保護者の方にはご案内はしなかったところなんですけれども、それは保護者だけではなく、参加しなかった企業も報道等によって来年はぜひ出させてもらいたいというようなお声も頂いています。幸い動画でも、撮影を当日させていただきましたので、今後、会場に来られなかった事業所、また保護者の方にも当日の雰囲気や少しでも感じてもらえるように、また今後、周知といいますか、広めていきたいなというふうに思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

市長も参加していただいたんですけど、市長の感想を聞かせていただければというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

私も議員ご指摘のとおり、出席をさせていただきました。やはり感じたのは、企業説明会と違って、非常に企業の皆様方も自分たちの特徴をしっかりと、物づくりや生徒に説明する中で、特徴を出すことができたと思っておりますし、今ほど課長が述べたように100%じゃないにしろ、そういったまた新たな1つの展開ができたというのを、企業側にも感じたんじゃないかなというのを感じました。そして、やはり何よりも生徒の皆様方が、非常に熱心に説明を聞いて、企業説明と違った雰囲気、非常に私は印象的に残りました。これはやっぱり続けるべきだなというのを感じました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

私、昨年、伊那市を見させていただきましたが、伊那市の場合は、もう最初からフリーで、自分の好きなブースにという感じが、糸魚川の場合には午前中は自分で最初に希望したとこというような形で工夫されたんだと思うんですね。その点はすごくよかったというふうに思います。

今回やった中で、やっぱり企業が中心だったと思うんですね。それに対し伊那市で行った場合には、地元のサークルだとかいろんな方が参加しておりました。やはりコロナ禍で、これが仕方がなかったのかなと思うんですけど、来年あたりからやるのであれば、そういうようなことも加えていただければと思います。

私、ある方に聞いたことがあるんですけど、押上の方で一の宮の祭りが好きで、やっぱり糸魚川を離れたくなかったと。こういう話を聞いたことがあります。いわゆるそういう方、祭りばかりじゃなくてあるんだと思うんです。例えば山が好きだから、この糸魚川はいい。そういうサークルの方もやっぱり来てもらって、うちのサークルに入ってもらいたいとか、例えばスポーツだとか、そんな形も加えて、やはりこの糸魚川を知るチャンスにするべきだと思うんですね。ただ一方的に聴くんじゃなくて、自分がそこに行って、本当に生の声を大人と会話もできる、答弁もできるということが大事だったと思うんですね。その点、これから伺いたいと思います。NPOだとかスポーツ関係、芸能なんかも含めてですけど、その点どのようにお考えなのか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

この事業の目的は、子供たち、生徒が糸魚川で生きる大人の仕事に対する誇りだとか、生きざまに触れて、地域への愛着、また個人としても自分を見つめる力、やればできると信じて、自分から

行動する力などを育むことであります。当然、企業に限らず地域への愛着ということを考えれば、地域で生きてる、活躍している方など、多様な大人との対話が必要だと思っています。多くなれば、スペース的な課題もあるんですけども、また検討していきたいと思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

伊那市で行われたときに、糸魚川の総合体育館の大体育館ぐらいのが、同じ施設内の中にあるんですね、2つ使って。そういう面ではかなり優位なところだったと思うんです。

ただ、糸魚川の場合には、サブ体育館が小さいですね。とは言いながら、幸いなことに中学校、糸魚川中学校はすぐそばですので、工夫すれば何とかなるんじゃないかなというふうに思ってます。その点も加えて、今回は今よりもやっぱりいろんなサークルも参加していただければというふうに思います。

先ほどの中で、大人との会話も含めてやはり中学生、高校生は、自分の将来を決めるときに、当然本人ですけど、それ以外に親の意向というのが、かなりあるんだと思うんです。それこそ我々の時代は、長男は残るのが当たり前で、以下はというような感じでしたけど、今はもう本当に長男も含めて外に出てもいいよという親が多いのかもしれませんが。でも親の意向というのは、やはり子供にかなり通じる。そういう面で先ほど言った、大人もそういうふうなんを見る機会、いわゆる糸魚川の企業を知る機会ということでは、大事なのではないかなと思うんです。改めて、大人も加えることも検討していただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

先ほどの答弁と同じになりますけれども、やはり当然、保護者も見ていただくような、私ども昨年、私も伊那市を見学したんですけども、やはり保護者にも見てもらいたいと思っていたんですが、このコロナ禍で保護者にはご案内をできなかったという状況であります。コロナが落ち着いた段階ではやはり保護者、当然子供たちが学んでいる姿を保護者も見る。地域の人生きざまも保護者も見ていただく。それでうちに帰って、一緒に話をさせていただくという場も大事だというふうに思っておりますので、来年はぜひそういうような形で進めていきたいと思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

今回のその中で、昼休みに糸魚川の3校、糸魚川高校、白嶺高校、そのプレゼンみたいのありました。そのとき私、後ろで見させていただいたんですけど、いわゆる何かが一方向的にやることに関して、何かみんなぼさっとしてるというか、その点に比べるとやはり数名でああいうところでブ

ースに行ってというのは、かなり良かったと思うんですね。そういう面で、逆に言いますと3校もブースを出したらいかがとは思いますが、その点考慮というか、考え方を聞かせていただければというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

キャリアフェスティバルが終わってから、すぐ4校の中学校の校長先生と少し懇談を、キャリアフェスティバルの件で懇談をさせていただきました。その中で今回の高校の発表は、中学校に来て、高校説明会と同様のような形だったので、中学校の校長先生からも、ぜひ中学生と触れ合えるような形にさせていただきたいというようなご要望も頂いております。

これまた高校へもお話を通さなければいけません、形を今回のような形には、改めてまたちょっと高校のほうとも相談をさせてもらいたいなというふうに思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

私も中学校の校長先生あたりと話すと、やはりそういう話が出ておりました。ぜひともそんな感じで、実際に高校生と中学生が話す機会がというのが重要だと思います。例えば学校単位じゃなくて、糸魚川高校、3校が一つのブースじゃなくて、例えば糸魚川高校の野球部、何々部、そういうブースの作り方もあるかと思うんですね。そうすることによって糸魚川の中学生が、地元の高校にという一つのルートができるんじゃないかというふうに思いますし、その点ぜひとも考えていただければというふうに思います。

同じように上越教育大学もありましたけど、いわゆるその点もできれば何か考える必要あるんだと思うんですけど、その点いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

今回、上越教育大学の皆さんからは、皆さんのアイスブレイクというところを担当していただきました。議員おっしゃるとおり、アイスブレイクではなく生徒と触れ合うというような、もっと触れ合うというようなところも検討していかなければいけないというふうに思っているところでありますが、いずれにしろ今回のことを踏まえまして、来年度さらに内容が充実するように検討を重ねたいと思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

ありがとうございます。先日の議会運営委員会の中で、やはりこれに議会としても出展しました。その報告がありました。やはりよかったという声の報告だったと思います。ぜひとも来年は、今よりもよくして続けていっていただきたいというふうに思います。

次に、3番目の質問に入りたいと思います。

先ほど3番目の質問に教育長のお答えでしたけど、市長はどうお考えなのか、お聞かせいただければというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

一つの観点の中で、教育費という捉え方をされております。しかし、教育関連の中においては、教育に含まれなくてもあるものが結構あると思っております。やはり縦割りだけではないところも今結構ある部分ございますので、そういったトータル的なところを見ていただければありがたいなと思っております。

しかし、一つの目安としては、そういうところがやはり気になる点かもしれません。内容について充実をさせていきたいと思っておりますし、その結果が教育費と捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

新潟県の100の指標の中に小学校児童、中学校生徒の一人の教育費用も載っております。この教育費用とは、教育費を公立小中学校児童数、生徒の数で割った金額が出されております。

そこで、この指標の確認できる25年度から29年度の、これホームページ見ましてもその年度しか出てないんですけど、平均金額小中学校当たり、県の30市町村中の順位について伺います。

5年間の平均で糸魚川の小学校では、約57万円で16位です。中学校で50万円で20位でした。先ほど市長の答弁もありましたように、これ教育イコールということだとは思いますが、この数字をどのように感じているのかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

お答えいたします。

今ほど議員がおっしゃったような数字が、100の指標のほうに出ているところでありまして、市といたしましては必要な予算を計上し、確保しているところでありますけれども、他市との比較ということになりますと、教育費には学校建設費など多額な予算を伴う事業費ですとか、小学校費

につきましても、小学校の改築・改修、あるいは中学校も同様ですけれども、そういったハードウェアに係る部分もかなり占める部分もあると認識しているところであります。ですので、他市との比較ということになりますと、どうしても順位が上下、上がったりが下がり下がりというものが、その年によってあるものとして把握をしているところでありますけれども、今後も教育長の答弁にありましたように必要な予算の確保について努力をしまいたいというふうに考えているところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

ちなみに小学校の児童1人当たりの、過去5年間の1人当たりの金額、教えていただければと思うんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

小学校児童1人の教育費の5年間、25年度から29年度の数字になりますが、平均では56万7,210円という数字になっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

申し訳ありません。年度ごとの数字、直近の30年度と元年度は出とると思うんですけど、27年度から結構ですので、もしお聞かせいただければ。小学校、中学校ともにできればお願いしたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

27年度につきましては48万4,900円、28年度は54万5,484円、29年度は47万1,078円、30年度につきましては52万8,603円、元年度は58万7,797円という数字になっております。

中学校費につきましては、27年度が38万5,363円、28年度は43万9,954円、29年度は72万4,462円、30年度は58万8,742円、元年度は64万875円となっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。

○3番（山本 剛君）

先ほど質問の中で教育費割合が下がってきるとは言いながら、現実にはここには、やはりかなり上昇してきます。これ糸魚川ばかりじゃなくて順位が上がらないのは、ほかの市町村も結構やはり教育費に金をかけてきてるなというふうに感じております。

糸魚川の場合、小学校では陰山メソッド、中学校では先ほどのキャリアフェスティバルだとか、あと高校では、高校を核とした人材育成事業など、他市にない独自の教育が行われているというふうに高く評価しております。

しかし、初めに申しましたように、やはりまだ学校現場では、ちょっと備品だとかいろんな部分で不足だというふうに言われておりますので、ぜひともそちらにも予算を割いていただいて、子供たちのために増額をお願いしたいというふうに思って、私の質問を終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、山本議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

関連質問なしと認めます。

職員入替えのため、13時25分まで暫時休憩といたします。

〈午後1時20分 休憩〉

〈午後1時25分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、吉川慶一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

清政クラブの吉川慶一です。

1回目の質問をさせていただきます。よろしく申し上げます。

1、農業所得（振興）の向上について。

今年も、7月の日照不足や8月に入ってから的高温、また、収穫期での降雨など、不安定な気象状況に悩まされましたが、昨年の過去最低水準と言われました一等米比率も回復し、胸をなで下ろしました。